

ひふみのあゆみ



ひふみらいと 追加型投信/内外/資産複合 2024年11月度 月次ご報告書

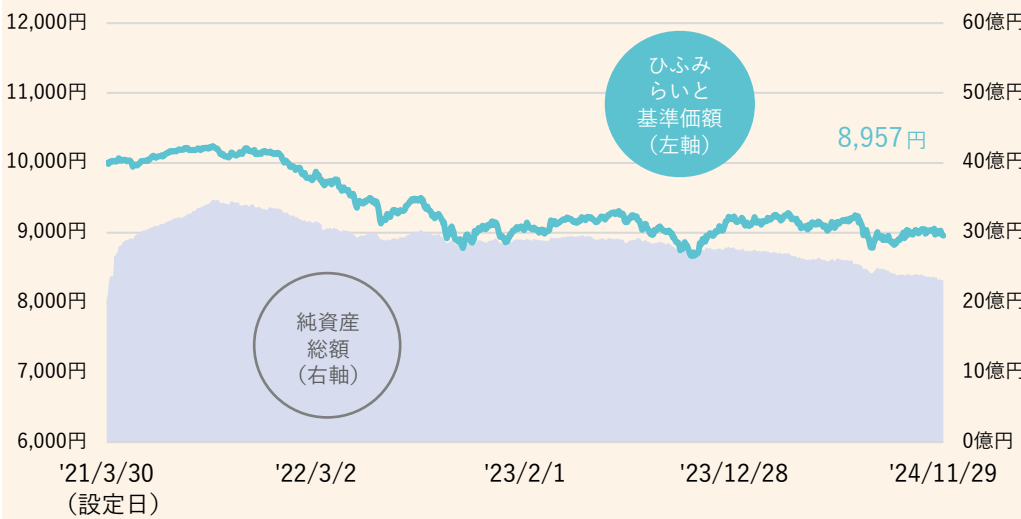
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみらいと」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2024年11月29日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「ひふみらいと」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」90%、「ひふみ投信マザーファンド」5%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」5%を維持することを目指して運用を行なっています。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用実績」をご覧ください。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみらいと	-1.04%	0.72%	-0.94%	-0.71%	-11.68%	-10.43%

ひふみらいとの運用状況

基準価額	8,957円
純資産総額	23.12億円
受益権総口数	2,581,795,866口

ひふみらいと 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	89.92%
ひふみ投信マザーファンド	4.98%
ひふみワールドファンド*	4.90%
現金等	0.20%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第3期	2024年4月	0円
第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-93円
ひふみ投信マザーファンド	-3円
ひふみワールドファンド*	+5円
信託報酬・その他	-3円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	+37円
株式・投資証券	+13円
為替	-151円
信託報酬・その他	+8円



ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	150.25億円
組み入れ銘柄数	30銘柄
種別比率	
国債	68.57%
社債	14.62%
住宅ローン担保証券	8.02%
地方債	3.16%
特殊債	2.24%
国際機関債	0.32%
債券先物取引	-15.23%
現金等	18.31%
合計	100.00%

為替ヘッジ比率	
	0.00%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 米ドル	34.47%
2 日本円	33.65%
3 ユーロ	20.06%
4 オーストラリア・ドル	3.16%
5 イギリス・ポンド	2.56%

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	3.25%
デュレーション	8.7
格付比率	
AAA	27.27%
AA	11.14%
A	50.79%
BBB	7.73%
BB以下	-
資産別比率	
海外債券	63.28%
国内債券	33.65%
債券先物取引	-15.23%
現金等	18.31%
合計	100.00%

組み入れ上位5カ国 比率	
1 日本	37.86%
2 アメリカ	30.26%
3 スペイン	7.67%
4 イタリア	6.94%
5 フランス	3.33%

組み入れ上位10銘柄 比率						
銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率	
1 日本国債 (30年)	国債	日本	日本円	2052/12/20	11.64%	
2 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2054/5/20	8.02%	
3 日本国債 (40年)	国債	日本	日本円	2063/3/20	7.33%	
4 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	7.04%	
5 イタリア国債	国債	イタリア	ユーロ	2033/11/1	6.94%	
6 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	6.07%	
7 日本国債 (20年)	国債	日本	日本円	2042/12/20	5.68%	
8 スペイン国債	国債	スペイン	ユーロ	2033/4/30	5.48%	
9 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	4.42%	
10 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2043/5/15	3.69%	

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。
（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。
デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいくほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」は、現物資産について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、外貨建資産の時価総額に対する為替予約評価額の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	8,369.95億円
組み入れ銘柄数	211銘柄
資産配分比率	
国内株式	91.97%
海外株式	5.31%
海外投資証券	-
現金等	2.72%
合計	100.00%

市場別比率

プライム市場	86.98%
スタンダード市場	2.61%
グロース市場	2.38%
その他海外株	5.31%
現金等	2.72%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率

1 電気機器	15.44%
2 情報・通信業	10.50%
3 機械	8.93%
4 サービス業	8.53%
5 小売業	6.90%
6 建設業	6.57%
7 銀行業	5.76%
8 化学	2.94%
9 その他金融業	2.89%
10 食料品	2.82%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上、3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	THE GOLDMAN SACHS GROUP, INC	GS	大型	NYSE	その他海外株	1.90%
2	日本製鋼所	5631	大型	プライム市場	機械	1.88%
3	日本郵船	9101	大型	プライム市場	海運業	1.86%
4	三井住友フィナンシャルグループ	8316	大型	プライム市場	銀行業	1.76%
5	富士通	6702	大型	プライム市場	電気機器	1.54%
6	ニデック	6594	大型	プライム市場	電気機器	1.48%
7	オリックス	8591	大型	プライム市場	その他金融業	1.46%
8	T D K	6762	大型	プライム市場	電気機器	1.40%
9	鹿島建設	1812	大型	プライム市場	建設業	1.37%
10	光通信	9435	大型	プライム市場	情報・通信業	1.37%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	147.63億円	投資信託財産の構成
		ひふみワールドマザーファンド 100.33%
		現金等 -0.33%
		合計 100.00%

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	組み入れ上位10カ国 比率
純資産総額 3,222.64億円	1 アメリカ 67.51%
組み入れ銘柄数 132銘柄	2 ドイツ 3.87%
	3 イタリア 3.25%
	4 イギリス 3.18%
	5 フランス 3.17%
	6 インド 2.75%
	7 スイス 2.40%
	8 スウェーデン 2.35%
	9 中国 1.92%
	10 デンマーク 1.19%

組み入れ上位10業種 比率	組み入れ上位10通貨 比率
1 資本財 17.25%	1 米ドル 76.44%
2 半導体・半導体製造装置 8.47%	2 ユーロ 8.23%
3 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 7.95%	3 スイス・フラン 2.01%
4 金融サービス 7.81%	4 香港ドル 1.92%
5 ソフトウェア・サービス 7.25%	5 イギリス・ポンド 1.65%
6 メディア・娯楽 6.12%	6 デンマーク・クローネ 1.19%
7 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 5.36%	7 台湾ドル 1.13%
8 銀行 4.47%	8 スウェーデン・クローナ 0.77%
9 一般消費財・サービス流通・小売り 4.23%	9 ノルウェー・クローネ 0.46%
10 食品・飲料・タバコ 3.40%	10 フィリピン・ペソ 0.00%

組み入れ上位10銘柄 比率				
銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1 AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	2.73%
2 MTU AERO ENGINES AG	ドイツ	ユーロ	資本財	2.71%
3 FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	2.46%
4 MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.42%
5 THE GOLDMAN SACHS GROUP, INC	アメリカ	米ドル	金融サービス	2.29%
6 CITIGROUP INC	アメリカ	米ドル	銀行	2.00%
7 MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.86%
8 EMERSON ELECTRIC CO	アメリカ	米ドル	資本財	1.77%
9 NETFLIX, INC	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	1.73%
10 AMERICAN EXPRESS COMPANY	アメリカ	米ドル	金融サービス	1.64%

ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみグローバル債券マザーファンド	-1.14%	0.50%	-0.87%	-2.39%	-14.42%	-13.33%

※「ひふみらいと」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「ひふみらいと」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「ひふみらいと設定来」は、「ひふみらいと」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「ひふみらいと」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみ投信マザーファンド	-0.73%	-1.91%	-5.07%	9.26%	18.06%	15.51%

ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみワールドマザーファンド	1.12%	10.47%	5.89%	33.56%	50.14%	74.44%

月次の運用実績は、当ファンドの運用成績欄および投資対象ファンドの基準価額の推移と運用成績欄をご参照いただければ幸いです。以下、先月の投資行動や投資環境、今後に向けて議論していたことなどをお伝えします。

【ひふみ投信マザーファンド】

日本企業の間接決算は冴えない内容で、米国の関税政策への警戒もあり、特に製造業が弱含みました。また10月の衆院選では与党が大敗しましたが、政治の不安定さは海外投資家が嫌う点であり、相場の上値は重くなっています。他方、企業による自社株買いは高水準が継続しており相場を下支えしています。こうしたなか、当ファンドでは引き続きIPコンテンツ系の銘柄や、防衛関連、米国住宅関連などの銘柄を組み入れました。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

プラスに寄与したのは、金融や資本財セクター、プラットフォーム関連の銘柄などです。トランプ次期政権の閣僚人事も進んでおり、さまざまな規制緩和の方向に進むなか、金利低下も相まってM&Aなどの取引が増えると考えています。またソフトウェアやDX関連にも比較的多く投資しています。AIが市場の牽引役になって久しいですが、ローテーション的には半導体などのハードウェアがひと段落して、次は、「AIでこういったものを作るか、どうやって売上を上げるか」というソフトウェアに目が向く段階を考えています。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

米国の長期金利は、月前半は上昇、月後半は低下という動きになりました。トランプ氏が大統領選挙に勝利し、議会選挙でも上下両院とも共和党が優勢となったことで、景気刺激的・インフレ的な政策が予測され、金利は上昇しました。足元ではトランプトレードが一服した様子になっています。日本については、長期金利が上昇基調となりました。円安が進行したこともあり、日本銀行が12月ないし来年1月にも追加利上げを行なうとの観測が高まりました。当ファンドでは、円金利がある程度上昇したので、売り建てていた先物を買戻すオペレーションを行ないました。日本の追加利上げは政策金利が0.5%へ到達した後、0.75%くらいまではいく可能性があると思われませんが、そのまま利上げを継続できるかは微妙なところだと考えています。当ファンドの運用は、引き続き主にインフレ率を上回る高い利回りを得られる外国債券を中心に、日本については超長期の国債を選好しています。

引き続き、株式・債券チーム一丸となって、全力で運用してまいります。

(12月2日)



ひふみらいと
ファンドマネージャー
橋本 裕一

※TOPIXは、すべてTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社J P X総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅すると共に、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

10月末の日銀金融政策決定会合において、植田総裁は今後の決定会合がライブ（＝利上げの可能性がある）であることを明確にしました。その後、「（12月会合までに）多くのデータや情報を得られる」、「経済データがオントラックに推移しているという意味では（追加利上げに）近づいている」などと発言し、市場では次回12月会合での0.25%利上げの確度が高まっています。一方、残存10年超の日本国債は、PD懇（国債市場特別参加者会合。財務省と証券会社で国債市場に関して意見交換する会議）を経て来年度からの発行減額が確実視される状況となり、イールドカーブ（利回り曲線）はフラットニング（平坦化）しました。

米国金利はトランプ氏の当選および上下両院で共和党が勝利したことで上昇を続けましたが、その後低下に転じました。財政赤字をGDPの3%以下に削減することを目標に掲げるベッセント氏が財務長官に就任したことで、財政の無秩序な拡大に歯止めがかかる可能性が意識されました。また、ツイッター社（現X社）の大リストラに成功したことで知られるイーロン・マスク氏らが政府効率化省を設立したことによる期待感もそれに加わりました。投資家が長期金利に要求するリスクプレミアム（＝タームプレミアム（期間の長さに伴う上乗せ金利または利回り））が低下し、イールドカーブは円同様フラットニングしました。

為替に関しては、月半ばまでドル高が続いたものの、月末にかけては結局円高基調が優勢になりました。トランプトレードの巻き戻しと日本銀行の利上げ観測が浮上したためと見られます。我々は中期的には内外金利差を上回るほどの円高は起きにくいと考えており、為替リスクを甘受しつつ、外国債券の高い利回りを享受するのが当面望ましいと引き続き考えております。

どうぞよろしく願いいたします。

(11月30日)



ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー

福室 光生

債券ってなに？～債券の基礎知識～【YouTube】

ひふみらいとがひふみグローバル債券マザーファンドを通じて投資している「債券」について、いまさら聞けない基礎知識を約10分で解説する動画をYouTubeの公式チャンネルにて好評配信中です。

専門用語をできるだけ使わずに、当社社員が分かりやすくお伝えしております。

ぜひご視聴いただき、債券運用への理解の一助としていただければ幸いです。



レオス・キャピタルワークス
【投資信託「ひふみ」公式】YouTubeチャンネル
登録者数2万人突破！
チャンネル登録をお願いします！

2024年11月の日本株市場は、米国大統領選でのトランプ氏勝利が市場の焦点となり、大きく動きました。日経平均株価は前月末比-2.23%、TOPIX（配当込み）は-0.51%と軟調な展開でしたが、その中で内需株や小型株が相対的に優勢でした。

月初は、米国ハイテク株安の影響で日本株も下落しましたが、トランプ氏の勝利が伝わると円安が進行し、株価は一時的に上昇しました。その後、トランプ政権の政策への警戒感が高まり、特に関税強化策により外需株に売りが広がりました。輸送用機器や半導体関連銘柄は特に弱含む一方、金融株は米国長期金利の上昇を追い風に強い動きを見せました。

市場全体では、大型割安株が金利上昇の恩恵を受けたものの、下旬にかけては円高が進行し、輸出関連株に売り圧力が強まりました。一方、内需関連銘柄や小型株は中旬以降に資金が流入し、値動きが良好でした。特に、消費関連や繊維製品、倉庫運輸業などが注目されました。外需が軟調だった一方、内需が強く、これまで動きのよくなかった小型株の動きが市場の活力を下支えする構造が見られた月でした。

ひふみ投信マザーファンドは前月末比-0.73%となりました。小型・成長株が相対的に多いポートフォリオであるため、大型株主体の日経平均株価は上回りましたが、割安株が多い構成のTOPIXには劣後しています。

懸念された米国大統領選挙が終わり、来年はいよいよトランプ政権がスタートします。上院下院共に共和党となるレッドスウィープですので、安定政権となることが考えられます。2年後の中間選挙に勝つために行動することが基本となると予想します。素直に考えると、日本株は第一次政権の時の経験を踏まえ、内需株や情報通信産業などが注目されそうですが、国内は物価高や金利上昇などの影響もあるため、前回とは違う相場展開になる可能性も高いと見ています。

混迷期に入ったかのような雰囲気とパフォーマンスですが、明るい未来を信じながら、引き続き未来を創ってくれるよい会社、強い会社を発掘すべく調査運用にまい進してまいります。

(12月3日)



ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

11月の米国株式市場は上昇して終わりました。最大の材料は、米国の選挙において、大統領のみならず、上下両院を共和党が過半数を獲得したことが確定したことでした。不透明感が解消されたことに伴い、市場全体のセンチメントが改善したほか、金融など一部セクターは規制緩和への期待により市場をアウトパフォームしました。一方、厳しい対中国政策への期待が重しとなった半導体はアンダーパフォームしました。

11月は、トランプ氏の当選が確定となった時点で規制緩和などにより金融取引の活発化が想定されたため、投資銀行、M&A仲介などの金融関連企業への投資を増やしました。一方、イベント通過と2025年1月の大統領就任、3月頃の一般教書演説までは実質的な方向性が不明な中で、トランプ次期大統領のXなどへの投稿が市場ボラティリティを上昇させる可能性が考えられたことから、防衛関連などを中心にそれまで株価上昇していた銘柄をスライス（売却）し現金比率を少し高めました。MAGA（Make America Great Again）が示す通り、これまで以上に世界のトップを目指す米国はより効率的な企業収益増大にコミットする経営者が増えると考えられ、M&Aに加え既存DXの深化にも今後の可能性を見ています。

上記の通り、4年に1度の一大イベントがようやく終了し、ある程度の不透明感が解消することになりました。不透明感が高まる局面では企業経営者は投資を、消費者は消費を控えますが、不透明感がなくなれば投資も消費も増えるというのが定石と考えれば、基本的には米国景気に対しては楽観的なスタンスを取るべきであろうと考えます。もちろん、政権交代を伴う不透明感の解消は、負の影響を受ける企業や産業を発生させることもあります。

「政策に売りなし」という相場の格言もあります。上記の通り、政権交代を予想し選挙前から一部ポートフォリオの変更は行なっていましたが、今後も政策の具体的な方向性、落とし所についても予想、検討しながら、ポートフォリオへの対応も継続的に行なってまいります。今後ともレオスならびにひふみらいとへの継続的なご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

(12月3日)



ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー
湯浅 光裕

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



トランプ2.0、米国版3本の矢

世界株の中で米国株優位化の流れ

主要先進5ヵ国の政治情勢は2024年に大波乱となりました。時系列でみますと、フランスは国民議会選挙(24年6月30日と7月7日)で与党が過半数割れ。英国は総選挙(7月4日)で与党大敗、労働党が勝利し14年ぶりに政権交代。日本は総選挙(10月27日)で与党敗北、少数与党政権へ。米国は大統領・連邦議会選挙(11月5日)で与党・民主党が敗北、共和党が大統領と上下両院で勝利し、政権交代が確定(共和統一政府)。ドイツはショルツ首相率いる連立政権が崩壊(11月6日)、12月16日にショルツ首相に対する信任投票(否決が濃厚)、25年2月23日に総選挙の公算です。コロナ禍以降の物価高と生活苦、新興国からの移民急増に伴う国民の不満急増が選挙での与党敗北や政権交代の主因とみられます。ただ、今後の政治情勢は、2大政党制の米・英が相対的に安定的で、仏・独は政治が不安定です。日本は25年7月の参院選挙が極めて重要ですが、所得増を中心に経済政策で支持率上昇がめざましい国民民主党が台風の目になりそうです。

米国はトランプ次期政権の閣僚人事などが固まり、共和統一政府の下でスタートダッシュの様相です。ベッセント次期財務長官が掲げる米国版3本の矢「3-3-3」(規制緩和による実質3%成長、財政赤字を28年にGDP比3%に削減、原油日量300万バレルの増産-物価低減)がどのように実行されるのか要注目です。米国経済にとって対中強硬策や関税強化策は景気や物価に対して悪影響が予想されますが、「3-3-3」政策がある程度の効果を発揮するならば、差引プラス効果が期待できそうです。最強国家を目指すトランプ2.0の諸政策は、米国にポジティブな一方、米国以外の世界に対してはマイナスの影響が懸念されるなど明暗が大きくなりそうです。

金融政策面では日本など一部を除き、世界的に過剰利上げの修正(利下げ)局面と位置づけられます。特に、欧州中央銀行(ECB)は物価や賃金の減速や独仏の景気停滞、政治不安などを受けて25年半ば頃にかけて利下げが継続しそうです。米国は物価や賃金の減速から利下げ方向とみられますが、トランプ2.0の政策効果(景気や物価への影響)を見極めながら利下げペースが決まりそうです(経済指標が強ければ、利下げペースがスローダウン)。一方、日銀は政治、為替、物価、賃金動向などを睨みながら、利上げを模索する姿勢ですが、円安進行(160円/ドル接近)ならば利上げ確率が高まるでしょう。主要国通貨は、米国との金利差によって動く色彩が強く、金融政策の方向性からは円高・ドル安基調、ユーロは下落基調が予想されます。

米国株は、共和統一政府の可能性が高くなった24年9月末以降、上昇相場に弾みがつきましたが、米国以外の世界株は関税強化や貿易戦争を懸念する形で軟調地合いです。25年1月20日にトランプ大統領が就任し、具体的な政策が発動されますが、総じて米国株人気が続くそうです。不動産不況と米中対立の激化が予想される中国株には不安材料が根強いと推察されます。欧州株は露宇戦争が早期終結になれば、注目が集まりそうです。日本株は国民民主党の手取り増加策などが採用され、「経済の好循環」が進む方向となれば、保合相場の上っ放れに動きそうです。

(12月3日)

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

日本では石破政権が誕生し、アメリカでも次期大統領が決まりました。ドイツでも政権交代の動きが出ています。大国のリーダーが変わる中、どのような視点で調査・分析活動を進めていますか。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役社長
最高投資責任者

変化はチャンス。自分の意に沿う変化かそうでないかを考えるよりも、起きた変化を読み対応していきたいと思います。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長

リーダー誕生の背景を想像しながら調査・運用しています。リーダーにも寿命があるのでその状況が永遠でないことも念頭に、変化を楽しみながら調査しています。



Ito Tsubasa
伊藤 翼
アナリスト

政権交代が追い風になる銘柄／逆風になる銘柄を調査することも大事だと思いますが、政権交代の影響をそれほど受けずに着実に成長していける会社を調査することも大事だと思っていますので、そのような銘柄で市場からの評価がまだ足りていないと思われる銘柄を探し続けていきたいと思っています。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

「政策に売りなし」と先人は言います。しかし私、トップダウンからの連想ゲームが上手くいった記憶がないので、引き続き個別決算を具に見るスタイルを維持しながら、得意な方から技を盗めるよう努めます。



Ohara Kenji
大原 健司
シニア・アナリスト

トランプ米国大統領の日々のX投稿に一喜一憂しないことが大切かなと思います。



Kubo Tomohiko
久保 智彦
シニア・アナリスト

リーダーによって変わること、リーダーが変更になっても変わらないことに注目します。これは政治リーダーでも、企業のリーダーたるマネジメントの交代でも同じような視点だと思います。

運用メンバーからのメッセージ



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
運用本部長
シニア・ファンドマネージャー

いろいろと調査をしていると、「もしかしたらこれは大きな転換点になるかも？」も期待することがあります。しかし、僕のこの手の予想が当たったことはマレです。なので、変わらなかったらこうなる、変わったらかうなるというように確率で考えていきます。



Zhou Huan
周 歆
シニア・アナリスト

リーダーの変更は結果であり、その背後にはグローバル化の逆転や、米国覇権の相対的な弱まり、もしくは分断によるサプライチェーンの再構築など、政治経済の大きなサイクルがあります。新しいサイクルで過去5年や10年において正しいと思われる投資理念が効かなくなる可能性もあるので、先入観なしの投資判断や調査活動を行ないたいと考えています。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
運用副本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト

リーダーの変化による各国の政策動向や国同士のパワーバランスの変化の可能性などに留意しつつ調査していきます。



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

出張中のブエノスアイレスでこれを書いています。政治的意見はいろいろあるとは思いますが、経済的には右派のほうが各経済主体のアニマルスピリッツを掻き立てるということはあろうかと思えます。急進右派政権下で皆が未来に希望を持ち始めたアルゼンチン人と、急進左派政権下で経済的に自信を失っているチリ人の対比を見ながら考えています。



Naito Makoto
内藤 誠
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

まずは、政権やトップが変わろうが変わらなかろうがあまり関係ない企業や業種に注目します。大統領選や総選挙などの大きなイベントでは、イベントに無関係な企業の株価が割安に放置されることも多く絶好の買い場だと考えます。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
ファンドマネージャー
兼マーケットエコノミスト

4年程度では人間の性格はあまり変わらないと思うので、一回やったことのある人が大統領になるなら、ある意味では予想しやすい面もあるのかなと思います。



Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長

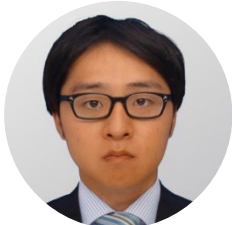
債券自警団と言われるように債券投資家は財政赤字の拡大に敏感です。イーロン・マスク率いる政府効率化省がどれだけ赤字を削減できるか、その流れが日本に波及するかに注目しています。

運用メンバーからのメッセージ



Matsumoto Ryoga
松本 凌佳
アナリスト
ファンドマネージャー

株価が上がるのがリーダーにとって望ましいことなのか否かについては、多少意識しています。リーダーが握っている権力が強ければ強いほど、その点を意識します。



Mizuse Kiminobu
水瀬 公脩
アナリスト

大国のリーダーではありませんが、会社のリーダーが変わることで業績の転換点になったケースが多く見受けられます。転換点をいち早く察知し、日々の調査活動に励みたいと思います。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

リーダーの指向する国益と世界とのバランス観がまずは大事。経済面では、雇用や投資、技術革新を生み出す「企業」活力をどの程度重視するのかに注目します。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
小型株戦略室長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

リーダー個人の掲げる政策や言動よりも、そのリーダーを誕生させた民意や時代の空気のようなものを理解したいと思っています。中長期の投資トレンドを左右する大きな潮流をつかむことに繋がるのではないかと考えています。

ひふみ公式LINEアカウント



ひふみ

「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらから**LINEお友だち登録**をお願いします
またはLINEにて「ひふみ」で検索

LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば！」へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます！

ひふみらいとの特色

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

お申込メモ

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	追加型投信／内外／株式	追加型投信／海外／株式
当初設定日	2021年3月30日	2008年10月1日	2019年10月8日
信託期間	無期限		
決算日	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）		
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。	—	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金共に、毎営業日の午後3時30分までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。		
	NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。	NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象です。	NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。
	詳しくは、販売会社にお問い合わせください。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
運用管理費用（信託報酬）	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して 年率0.55%（税込） を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券（ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用））：純資産総額に対して 年率0.0022%（税込） 実質的な負担※：純資産総額に対して 年率0.5522%（税込）程度	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.078%（税込） を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.628%（税込） を乗じて得た額
その他費用・手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用（監査費用）およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。	組入有効証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税等）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用（監査費用）およびそれにかかる消費税等、受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。		
	監査費用は日々計算されて毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等は都度ファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行いません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：(ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社
(ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社
(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください

各ファンドについてのお問い合わせ先



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社
コミュニケーション・センター
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
受付時間：営業日の9時～17時
ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>